

平成30年度

# 事業報告書

社会福祉法人 南幌苑  
障がい者支援施設 南幌めぐみ学園  
共同生活援助 ハイツ ひまわり

— 目 次 —

- ・ 社会福祉法人南幌苑本部 . . . . . P 1 ~10
- ・ 南幌めぐみ学園 . . . . . P11~14
- ・ GHハイツひまわり . . . . . P15~17
- ・ 関係資料 . . . . . P18~39

## 1. 法人の事業運営

当法人も平成30年4月に創立30周年を迎え記念事業として、ご利用者の強度行動障がい・高齢化に伴い、居住空間の整備、屋外生活空間の整備、及び就労や作業が安心して取り組める環境整備を実施した。

大規模改修事業としては、旧南幌幼稚園建物を利用して活動していた地域生活支援センター「かよえ〜る」の移転新築工事を実施し、同敷地内にドックラン施設を併設したカフェを新築し、地域貢献を目的としてドックラン設備を無料開放し喫茶コーナーや他施設の製品販売を行うことにより、地域住民が気軽に利用でき交流を通じ、ご利用者の就労環境整備とあわせて、地域との関わりや地域住民の方々への理解と啓発を相互扶助としての機能を持ち、生活環境・利用環境の向上を目指す事業を展開した。

また、新築建物が10月に完成し、落成式と併せて創立30周年記念式典を10月20日に開催し、ご利用者、ご家族関係、施設関係、ボランティア団体等協力機関など大勢の皆様参加を得て、盛会に終了した。

障がい者への支援は年々拡充し、「改正障がい者総合支援法」が平成30年4月1日に施行、同時に障がい福祉サービス等報酬改定があり、障がい福祉サービス等ご利用者の強度行動障がい・高齢化を踏まえた支援に対するサービスの評価が新たに設定され、施設においては専門養成研修を修了した職員配置により加算報酬となり、就労継続支援においては平均工賃に応じた基本報酬設定となり、加算体制に応じたサービスを提供した。

制度改正により法人の使命として求められた、地域における社会貢献の取り組みとしては、手袋編機を活用し、地域の幼稚園・保育所などに提供するほか、交通安全、防犯対策等の啓発事業に活用した。また、公益財団法人日本財団が運営する社会貢献自動販売機「夢の貯金箱」により、売上の一部を困難な生活をされている方々に利用していただく事業に協力を行い、その他、学園祭やスポーツ大会の開催と併せて施設の開放を積極的に行い、地域住民が気軽に利用でき、交流を通じて法人の基本理念を理解していただけるよう努め、ご利用者による学園周辺の道路清掃、高齢者世帯の除雪、南幌町や高齢者施設への干支関連の作品等の寄贈を引続き実施した。

法人としても全国的に障がい者への虐待に係る報道が止まることなく続き、当法人でもご利用者への支援の充実のため、役員・職員の研修として、「知的障がい者福祉の歴史と現状」と題し、北海道知的障がい福祉協会権利擁護委員 白戸浩雅氏より「虐待防止と権利擁護」についてご講演を受け、「虐待とリスクマネジメントについて」と題して、北海道保険補償の石山忠代表取締役よりご講演を受けた。

今後も、法人として地域住民やご利用者、ご家族から親しまれる地域に根付いた法人であることを目指し、確実な事業展開を行い、より一層良い環境づくりに努める。

・重点事業実施状況

1) 創立30周年記念事業

○記念式典・祝賀会 平成30年10月20日 地域交流ホール  
来賓71名、法人役員関係13名、ボランティア3名、  
利用者52名、職員27名 計166名出席

○地域生活支援センター「かよえ〜る」・わんだフルCAFÉ  
MEGUMI 新築工事、平成30年10月10日完成

2) 役員研修

○法人役員研修

・平成30年4月21日 役員・職員合同研修会

講演「知的障がい者福祉の歴史と現状」

講師 北海道知的障がい福祉協会権利擁護委員

白戸 浩雅 氏

地域交流ホール 役員・職員全員

・平成30年5月26日 役員・職員合同研修会

講演「虐待とリスクマネジメントについて」

講師 北海道保険補償 代表取締役 石山 忠氏

地域交流ホール 役員・職員全員

・平成30年7月11～13日 役員研修

「全国社会就労センター研究大会」 青森県

理事長・常務理事・役員4名・事務局

・平成30年11月15～16日

北海道障がい者虐待防止・権利擁護研修

札幌市 理事長

3) 職員研修

○施設内研修

・平成30年6月29日 救急救命講習・喉つまり応急処置研修

講師 南幌消防署員2名 地域交流ホール 職員全員

・平成30年10月4～6日 感染症予防実技研修会（演習）

食堂 職員全員

・平成30年11月7日 めぐみ会・めぐみ学園合同研修会

30周年記念講演

講師 日本知的障がい者福祉協会顧問 橘 文也 氏  
月形町長 上坂隆一 氏  
札幌市 家族 12 名 職員 8 名 計 20 名

○施設外研修

北海道社会福祉協議会や道内外の知的障がい関係団体が開催する研修会等に参加し、職員の資質向上に努めた。

4) 規程等の制定・改正

- ・定款変更 … 平成 30 年 12 月一部改正
- ・就業規則 … 平成 30 年 10 月一部改正
- ・経理規程 … 平成 30 年 11 月一部改正
- ・給与規程 … 平成 31 年 3 月一部改正
- ・各事業運営規程 … 平成 31 年 3 月一部改正

5) 大規模修繕・施設整備関係

- ・めぐみ学園 施設周り歩道改修工事
- ・めぐみ学園 食堂・トイレ手洗い設備改修工事
- ・めぐみ学園 ふれあい棟冷房設備工事
- ・めぐみ学園 作業室間仕切り工事
- ・めぐみ学園 リネン室改修工事

6) 補助事業

- ・2018 年「24 時間テレビ」福祉車両寄贈  
スロープ付き軽自動車 ダイハツアトレー
- ・大友福祉振興財団助成事業  
浴室手すり取付、シャワーキャリー (2 台)
- ・共同募金「施設活動支援事業」  
アクアガス乾燥機 1 台

7) 地域における社会貢献の取り組み

- ・職員、ご利用者による学園周辺、地域周辺の道路清掃
- ・職員、ご利用者による高齢者世帯の除雪
- ・南幌町や高齢者施設への干支のウッドパズル等の寄贈
- ・学園祭やスポーツ大会の開催と併せて施設の開放を積極的に行う
- ・幼稚園・保育所に自作手袋の提供
- ・交通安全、防犯対策等の啓発事業
- ・公益財団法人日本財団が運営する自動販売機「夢の貯金箱」による社会貢献事業
- ・ドックラン設備の地域無料開放

・実施事業

○障がい者支援施設南幌めぐみ学園

定員	施設入所支援事業	50名	(現員49名)
	生活介護支援事業	60名	(現員55名)
	就労継続支援B型	10名	(現員7名)

○短期入所事業（併設） 定員 5名

○共同生活援助事業所 ハイソひまわり

定員 4名

○日中一時支援事業 定員 5名

## 2. 理事会・評議員会の開催及び監査の実施状況

平成 30 年度においては理事会 7 回、評議員会を 2 回開催し、監事による実施監査を 4 回受けた。

### 1) 理事会

開催年月日	会議内容
平成 30 年 4 月 5 日	<p>第 186 回理事会</p> <p>1. 議事</p> <p>議案第 1 号 社会福祉法人南幌苑評議員候補者の推薦について (案)</p> <p>議案第 2 号 社会福祉法人南幌苑福祉サービス相談委員及び虐待防止委員の選任について (案)</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) 南幌めぐみ学園 30 周年記念事業新築工事業者先行入札日の変更について</p> <p>3. その他</p> <p>1) 今後の理事会、評議員会の開催予定について</p>
5 月 25 日	<p>第 187 回理事会</p> <p>1. 議事</p> <p>議案第 1 号 平成 29 年度法人及び施設の事業報告について</p> <p>議案第 2 号 平成 29 年度社会福祉事業会計の収支決算報告について</p> <p>議案第 3 号 社会福祉法人南幌苑 地域福祉活動基金設置運営規程の制定について</p> <p>議案第 4 号 社会福祉充実計画の変更について</p> <p>議案第 5 号 南幌めぐみ学園 施設回り歩道改修工事について</p> <p>議案第 6 号 南幌めぐみ学園 食堂・職員トイレ手洗い設備改修工事について</p> <p>議案第 7 号 南幌めぐみ学園 ふれあい棟エアコン設備工事について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) 平成 29 年度第 4 回 (決算) 内部監査結果報告について</p> <p>2) 南幌めぐみ学園 30 周年記念事業新築工事業者選考入札結果について</p> <p>3) 24 時間テレビ車両申請について</p>

開催年月日	会 議 内 容
平成 30 年 5 月 25 日	3. その他 1) 今後の理事会、評議員会の開催予定について
9 月 11 日	第 188 回理事会 1. 議事 議案第 1 号 社会福祉法人南幌苑就業規則の一部改正について 議案第 2 号 南幌めぐみ学園 30 周年記念事業について 議案第 3 号 南幌めぐみ学園作業室間仕切り設置工事について 1. 報告事項 1) 平成 30 年度第 1 回 (6 月末) 内部監査結果報告について 2) 2018 年度日本財団福祉車両助成事業申請について 3) 平成 30 年度中央競馬馬主社会福祉財団助成申請について 4) 2018 年度大友福祉振興財団助成金交付申請について 3. その他 1) 今後の理事会の開催予定について
10 月 10 日	第 189 回理事会 1. 議事 議案第 1 号 南幌めぐみ学園 30 周年記念事業について 2. 報告事項 1) 指定障害福祉サービス事業者の指定の更新について 3. その他 1) 今後の理事会、評議員会の開催予定について
12 月 7 日	第 190 回理事会 1. 議事 議案第 1 号 社会福祉法人南幌苑 定款の一部改正について (案) 議案第 2 号 社会福祉法人南幌苑 経理規程の一部改正について (案)



開催年月日	会 議 内 容
平成 30 年 12 月 7 日	<p>議案第 3 号 平成 30 年度 社会福祉事業会計の補正予算について (案)</p> <p>議案第 4 号 社会福祉法人南幌苑創立 30 周年記念事業完了報告について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) 平成 30 年度第 2 回(9 月末)内部監査結果報告について</p> <p>2) 2018 年度大友福祉振興財団助成金交付申請について</p> <p>3) 2018 年度「24 時間テレビ」福祉車両寄贈について</p> <p>3. その他</p> <p>1) 今後の理事会、評議員会の開催予定について</p>
平成 31 年 1 月 28 日	<p>第 191 回理事会</p> <p>1. 議事</p> <p>議案第 1 号 社会福祉法人南幌苑 給与規程の一部改正について (案)</p> <p>議案第 2 号 社会福祉法人南幌苑 地域福祉活動基金の積立について</p> <p>議案第 3 号 南幌めぐみ学園 リネン室、居室変更改修工事について</p> <p>議案第 4 号 社会福祉法人南幌苑 評議員の辞任について</p> <p>議案第 5 号 社会福祉法人南幌苑 役員 (理事・監事) の任期満了について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) 平成 30 年度第 3 回 (12 月末) 内部監査結果報告について</p> <p>2) 社会福祉法人南幌苑 定款変更届受理について</p> <p>3) 2019 年度共同募金「施設活動支援事業」申請について</p> <p>4) 職員採用試験実施について</p> <p>3. その他</p> <p>1) 今後の理事会、評議員会の開催予定について</p>
3 月 15 日	<p>第 192 回理事会</p> <p>1. 議事</p> <p>議案第 1 号 平成 30 年度社会福祉事業会計補正収支予算 (案) について</p>

開催年月日	会 議 内 容
平成 31 年 3 月 15 日	<p>議案第 2 号 平成 31 年度社会福祉法人南幌苑事業計画(案) について</p> <p>議案第 3 号 平成 31 年度社会福祉事業会計収支予算(案) について</p> <p>議案第 4 号 社会福祉法人南幌苑 評議員候補者の推薦 について</p> <p>議案第 5 号 社会福祉法人南幌苑 給与規程の一部改正 について</p> <p>議案第 6 号 社会福祉法人南幌苑 事業別運営規程の一部改正(案) について</p> <p>議案第 7 号 南幌めぐみ学園非常用自家発電設備に係る整備計画書の提出について</p> <p>議案第 8 号 南幌めぐみ学園 PC 機器一部更新、新規増設について</p> <p>議案第 9 号 職員採用及び人事について</p> <p>議案第 10 号 社会福祉法人南幌苑 役員(理事・監事)の任期満了について</p> <p>2. その他</p> <p>1) 今後の理事会、評議員会の開催予定について</p>

## 2) 評議員会

開催年月日	会 議 内 容
平成 30 年 6 月 18 日	<p>第 44 回評議員会</p> <p>1. 議事</p> <p>議案第 1 号 平成 29 年度法人及び施設事業報告について</p> <p>議案第 2 号 平成 29 年度社会福祉事業会計の収支決算報告について</p> <p>議案第 3 号 社会福祉充実計画の変更に係る承認申請について</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) 平成 29 年度第 4 回内部監査（決算）の結果報告について</p> <p>3. その他</p> <p>1) 今後の評議員会の開催予定について</p>
12 月 13 日	<p>第 45 回評議員会</p> <p>1. 議事</p> <p>議案第 1 号 社会福祉法人南幌苑 定款の一部改正について</p> <p>議案第 2 号 社会福祉法人南幌苑創立 30 周年記念事業完了報告について</p> <p>2. その他</p> <p>1) 次期評議員会の開催予定について</p>

## 3) 監事監査

開催年月日	会 議 内 容
平成 30 年 5 月 16 日	平成 29 年度第 4 回内部監査（決算）
8 月 20 日	平成 30 年度第 1 回内部監査（6 月末）
10 月 23 日	平成 30 年度第 2 回内部監査（9 月末）
平成 31 年 1 月 22 日	平成 30 年度第 3 回内部監査（12 月末）

4) 評議員選任解任委員会

- ・(第2回) 平成30年4月6日開催 (1名補充選任)
- ・(第3回) 平成31年3月18日開催 (1名補充選任)

5) 空知総合振興局による指導監査

- ・ 集団指導           平成30年11月6日   職員1名   岩見沢市
  
- ・ 書面調書           平成31年3月提出  
  監査対象           障がい者支援施設南幌めぐみ学園  
                      施設入所・生活介護・就労継続支援B型  
  審査結果           平成31年4月22日通知   指摘事項なし

# 平成30年度 南幌めぐみ学園事業報告

## I 概況

### 1. 運営概況

#### 1) 運営全般

開園30周年を迎え老朽化していた「かよえーる」の新設に伴い、新たな空間での日中活動を行うことができた。また、わんだフルCAFE MEGUMIの営業をとおり併設したドックランでは、町内外の方々が多く利用され好評なスタートとなった。

さらに、ご利用者への質の高いサービスの提供を目指し、強度行動障がい支援者養成研修に参加し職員の資質向上を図り、ご利用者が生き生きと安全に、安心して日々の生活ができるよう努めた。

行事関連においては、ご利用者やご家族・地域ボランティアの参加とご協力を得て、スポーツ大会・学園祭等の行事を実施した。

また道外宿泊旅行は、東京方面へ行き総数19名が参加、さらに道内宿泊研修旅行は定山溪温泉に宿泊、総数80名が参加された。その他各行事への多くの参加を通して相互に意見・情報交換することができた。

#### 2) ご利用者の動向

①ご利用者の概況 ※ 資料「利用者の状況」参照

## II ご利用者支援

### 1. 障がい者支援サービス

#### 1) 施設入所・通所支援

日中活動としては、ご利用者一人ひとりの思いに寄り添いながら、毎日が新鮮な一日になれるよう外出支援をはじめとし、身体機能の維持・向上の取り組みや日常生活の中で充実感が得られるようエンパワメントを引き出すサービス提供に努めた。

施設内では、浴室改修や居室の増築工事を行い生活しやすい環境づくりを行った。

ご利用者個々の支援についても個別支援計画にそって定期的にモニタリングをおこない、共通認識のもと、その時々状況に合わせた支援を行った。

#### 2) 日中活動支援

生活介護支援事業は、高齢化・重度化の流れの中で自閉症・自閉傾向の障がいの重い人や強度行動障がい（パニック等）・身体障がいとの重複障がいにおいて、リハビリ訓練やストレッチ、ウォーキングなど身体機能維持・体力増進に向けて行なってきた。

生活訓練科は創作活動で和紙工芸や縫製品の制作及び、軍手制作に取り組み、南幌町内外のイベント、元気ショップいこ〜る（札幌市）にて販売し、絵画や貼り絵等の作品は展示会に出展した。日常生活に必要な訓練・支援（歯磨き・ひげそり・整容・洗濯・整理整頓等）を個別に取り組んできた。

紙器加工科は通年で下請け業者（ポロトナ、北辰フーズ、山東印刷）からの箱折り各種・菓子詰めなどの委託作業を行ない継続してきた。また広教資材（町内）からの下請

け作業なども行った。

農産科は前期に畑作業（ミニトマト・かぼちゃ等の栽培）と環境整備、また、町からの委託作業のペットボトルのキャップ回収など取り組んできた。収穫した農産物は、食事の中で提供したり、町内のイベントにて販売した。

### 3) 就労継続支援

就労継続支援B型事業は、継続して以前からの長期実習先であるスリービーに2名が自立生活を目指して実習に取り組んだ。

セブンイレブンのごみ分別委託作業には、女子1名が取り組んだ。

それぞれに何らかの課題は残るものの「働くこと」を通して、厳しさを学び社会生活能力を養ってきた。

菓子工房もぐもぐは4名が手作りクッキーなどの焼き菓子づくりとコーヒーの宅配サービスを行なった。手作りクッキーは南幌町観光協会、江別イオンときめいく、セブンイレブン、元気ショップいこーるにて販売された。

### 4) 余暇支援

余暇活動ではご利用者の年齢や身体状況・嗜好やニーズを十分考慮し、南幌町内のイベントや近隣の他施設の行事や催事などに積極的に参加した。

またスポーツ大会では保護者ご家族との交流だけでなく、地域の方々・ボランティアの方々との交流を深めることができた。

園内では、焼肉パーティー・餅つき・忘年会・新年会・節分などの季節の行事を行ない、土日には地域交流ホールでゲーム、カラオケなどを楽しんだり、散歩に出掛けたりした。

道外宿泊旅行は東京方面へご利用者8名、ご家族5名、職員6名、計19名が参加し、さらに道内宿泊研修旅行では定山溪温泉に宿泊、ご利用者39名・ご家族23名・職員18名の80名が参加した。

スポーツ活動では、南幌町福祉スポーツ大会に参加し・パークゴルフ等の種目で空知知的障がい福祉協会の大会に参加した。また札幌ドームでのティーボール大会では、ご利用者12名、家族8名が応援に駆け付け競技に参加し、応援大賞を受賞した。

### 5) 苦情解決

ご利用者からの苦情は常設の投書箱にて随時受け付けると共に、日常的にも個々のご利用者の訴えをよく聞き、その悩みや相談、抱えている問題に関し職員が共に認識をもつよう努めた。

職員には「人権侵害ゼロへの誓い」署名を実施し、虐待防止や権利擁護について、研修会を開催したり、各種会議でも繰り返し周知徹底を図っている。

### 6) 保健衛生・医療

年2回の健康診断および毎月の身体測定・歯科訪問診療・皮膚科往診・女性は希望により乳がん子宮がん検診を実施。日常の健康管理に関しては町立病院や北広島メンタルクリニック主治医（穴澤医師）による問診のほか、看護師が体調確認を行った。毎月の身体・血圧測定のほか医師の指示等で定期的なバイタルの測定や排泄確認が必要な方は

個々に記録を報告した。高齢化や重度化などの要因に伴い、通院回数は増加している。

今年度もインフルエンザ予防接種を全員が受け、重篤化しないための感染予防に努めたが、7名がインフルエンザ発症し3名が入院治療を受けた。また、園内の清掃消毒、さらに手洗いの励行など予防対策を強化した。ノロウイルス等の食中毒に備えて嘔吐物の緊急処理用具を園内2か所に設置し、嘔吐時の処理の手順を学ぶ講習会を実施した。毎月の生活懇談会でご利用者に医療の指導を行い、病気や健康への配慮を促した。

## 7) リスクマネジメント

ご利用者の事故については、転倒・ご利用者同士のトラブルによるケガ・破損事故が見られている。転倒事故の要因としては年齢や歩行機能低下によるものである。ご利用者同士のトラブルについては、情緒障がいの特徴である他者への攻撃性に起因するものでありご家族や医師と相談のうえ対応している。ヒヤリハット事例を都度分析し予防策や未然に防ぐための会議を行った。

(平成30年度の空知総合振興局・南幌町への事故報告は 5件)

## 8) 栄養管理・給食

食生活は、健康の保持増進と精神的安定を図るため、適切な食事摂取基準を満たした季節感のあるバランスのよい食事を提供した。

毎年1回のご利用者嗜好調査(アンケート)のほか、月例の給食会議の中でご利用者・職員から給食に関する意見や要望を聞き、食事満足度の向上のために検食簿などを参考にしながら給食内容の改善に努めた。健康診断・身体計測の結果から、ご利用者の心身の状況に関する情報を看護師・支援員と共有し、療養食や嚥下に配慮するなど適切に提供し毎月の生活懇談会でご利用者に栄養指導を行った。誕生膳や季節ごとの行事食の他、選択メニュー(複数献立)、ご利用者の目の前で調理を行うライブキッチンなど積極的に行った。

## 9) 環境整備・防災

ご利用者が日々快適で安全な生活を送ることが出来るように、修繕や前庭等の整備と居住環境及び周辺の生活環境の整備に努めた。

防災に関しては、「防災計画」に基づいて毎月1回の避難訓練とご利用者と共に防災点検を実施した。春4月と秋10月に南幌消防署員立ち会いで総合避難訓練を実施し、地震想定・夜間想定にも取り組んだ。7月には救命救急講習を行い緊急時対応に備えた。

## 2. 対外業務

### 1) 福祉実習生及びボランティアの受け入れ

福祉の専門職として知識や経験を社会へ還元することを目的とし、大学や専門学校を中心に保育・福祉分野の実習生を積極的に受け入れ、次代を担う人材の育成に寄与した。

ボランティアに関しては、定期的訪問・学園行事等を通じて、地域のボランティア団体、音楽や文化のボランティアサークル、個人の学生ボランティア等の受け入れを継続して行ってきた。

○福祉実習生受け入れ	北海道介護福祉学校	3名
	南幌中学校職場体験	2名

南幌高校インターンシップ	1名
北海道文教大学	1名

○ボランティア受け入れ 延べ人数90名

## 2) 養護学校実習の受け入れ

学校関係者と連携し、養護学校中学部・高等養護学校の現場実習を受け入れた。

○現場実習生受け入れ	南幌養護学校中学部3年	3名
	夕張高等養護学校中学部3年	1名

## 3) 広報活動

学園の広報誌「南幌めぐみ学園だより」は7月・2月の年2回発行し、町内の地域住民には新聞折り込みにて配布、町外のご利用者ご家族や関係機関にも郵送している。「学園の近況について」を保護者に発送し、学園の取り組み状況のお知らせを行った。

## 3. 管理業務関連

### 1) 職員研修

障害者総合支援法関係の研修会や行政説明に役職員が参加し、情報収集に努めた。その他、職員の経験年数や職務内容を考慮し、北海道社会福祉協議会や道内外の知的障がい関係団体が開催する研修会や支援の実践に関する研修に参加し、援助技術や知識の習得と情報の収集に努めた。

※資料「事業実施経過」参照

### 2) 年間行事

概ね例年通りの日程内容で行事を実施した。

※資料「事業実施経過」参照

## Ⅲ その他の事業報告

### 1. 短期入所事業・日中一時支援事業

#### 1) 概況

短期入所事業の利用者については、前年に引き続き個々の体力、能力等を勘案し個別支援計画に基づき、施設利用者の日課等に合わせて支援を行い、在宅の知的障がい児・者の地域生活を支えるサービスとして、短期入所事業と日中一時支援事業を継続して行った。

#### 2) 利用状況

新規短期入所利用は養護学校卒業前の体験利用を行い、他、定期で2週間程度の利用者がいた。

日中一時支援利用については児童の低年齢化・障がいの重度化などによりマンツーマン対応による支援を行ってきた。職員配置の面では厳しい状況もあり社会的責任という視点から継続して受け入れてきた。

※資料「短期入所・日中一時支援利用状況表」参照



## 平成30年度 GHハイツひまわり 事業報告

ご利用者の方が自分の生活ライフを自分で選び選択する事を一番に考え、個性や志向を出来る限り尊重し、地域生活が送れるように対人関係の調整や健康管理、金銭管理の支援を行った。

今年度は冷蔵庫を更新し、食材の安全な保管等に活用できた。  
また、北町町内会行事にも積極的に参加され町内の方々と交流を図ることができた。

### ○家事への取り組み

週末（土・日）の食事は当番を決め、自分たちでメニューを考案し調理されていた。急な用事で当番を交代しなければならない場面もあったが他のメンバーが交代を快く引き受けてくれたためトラブルごとは一切みられなかった。またメニューのバリエーションも少しずつ増えており夏場には自分たちの畑で収穫した新鮮野菜を使い食事の献立の中に取り入れた。

誕生日は誕生者本人の好みのメニューを献立に取り入れてもらい皆さんからお祝いの言葉をいただき喜ばれていた。また、外食や宅配なども楽しんでいた。

### ○清掃

共同スペースの当番はみんなで話し合っ決めてスムーズに行うことが出来ており世話人には清掃の再確認と不十分なところの清掃を一緒に行った。

自室の清掃は基本毎日行うこととなっているが週に一度清掃日を設け、出来る部分は自分で清掃、清掃が苦手なご利用者は世話人と一緒に取り組み清潔を心がけていた。

### ○対人関係

お互いを知り、慣れてくることによって仲間への不満や指摘事は多くなってくるものであり職員がいる時といない時で態度が異なる場面は時々見られていた。不満不平が聞かれた場合には世話人や支援員がご利用者の話を聞きだし早期解決に努めていた。

親しくなってきたゆえに甘えやわがままもでてきており、互いの性質や性格を理解していけるよう働きかけつつ、みんなの意見を聞く等話し合いの機会を設けた。

また時々職員同行のもと買い物・外食などで気分転換を図り、親睦を深めることができた。

### ○地域活動への参加と関わり

隣人の方々と挨拶を交わし町内会の花壇整備など活動には積極的に参加、地域の方々と顔を合わせ交流を図ることができた。

今年は例年になく大雪のため、都度、本体職員も協力しながら除雪を行った。

### ○健康管理

日頃より世話人がバイタルチェック、ご利用者の表情等に気をつけ体調管理をしっかり行うよう努めていたが、季節の変わりめや疲労がたまってくると体調を崩すご利用者がみられたが、学園本体との電話連絡や日誌を活用し伝達する事ができた。

外出後は必ず手洗いうがいを行ない外部から病気を持ち込まないように働きかけ、インフルエンザが町内で流行していた場合には、外出を控えたりしながら予防に努めた。

今年度も、管理栄養士から嗜好品についてのお話があり再度食生活の見直しができるきっかけとなった。次年度も健康教育を組み込んで行く。

## ○避難訓練

3回の避難訓練（地震想定を含め風災害、大雪）を行い消防署への通報訓練と避難場所の再確認をしている。

### 1. 職員体制

管理者 1名（兼務） サービス管理責任者 1名（兼務）

世話人 1名（専任） 生活支援員 3名（兼務）

※ その他、バックアップ施設職員にて、随時支援を行った。

### 2. バックアップ施設

障がい者支援施設南幌めぐみ学園

### 3. 利用者（定員4名）

平成31年3月31日

氏名	市町村	性別	年齢	区分
Aさん	岩見沢市	女	52歳	3
Bさん	江別市	女	65歳	4
Cさん	当麻町	女	50歳	2
Dさん	小樽市	女	49歳	3

### 4. 行事实施状況

開催年月日	主たる事業の内容
平成30年	
4月 2日	定期健康診断
5月 26日	町内会花壇花植え 4名参加
6月 15日	花見 焼き肉（めぐみ学園前庭にて）
7月 8日	スポーツ大会（めぐみ学園前庭にて）
18日 ～20日	道外宿泊研修旅行 東京方面 2名参加
30日	避難誘導訓練（火災想定）
8月 4日	町内会 花壇草取り 4名参加
9月 2日	空知知的障がい福祉協会パークゴルフ大会 2名参加
12日 ～13日 20日	道内宿泊研修旅行 小樽方面 4名参加 栄養指導
23日	避難誘導訓練（地震・火災想定）
30日	めぐみ学園 学園祭

開催年月日	主たる事業の内容
10月 20日	めぐみ学園創立30周年記念式典
11月 6日	定期健康診断
12月 16日	ティーボール北の甲子園大会（札幌ドーム） 1名参加
	忘年会（めぐみ学園にて）
平成31年	
1月 21日	新年会（めぐみ学園にて）
	避難誘導訓練（風水害・大雪）
	栄養指導

## 資 料

1. 事業実施経過
2. 職員の配置
3. 利用者の状況
  - (1) 月別在籍者状況
  - (2) 入退所者状況
  - (3) 利用者年齢調
  - (4) 利用期間調
  - (5) 利用者出身市町村調
  - (6) 障害状況
  - (7) 面会状況
  - (8) 外出状況
  - (9) 外泊状況
4. 短期入所・日中一時支援
  - (1) 短期入所利用状況
  - (2) 日中一時支援利用状況
  - (3) 短期入所・日中一時支援利用者市町村調

## 1. 事業実施経過

開催年月日	主たる事業の内容
平成30年	
4月 1日	30周年開園記念日 辞令交付 職員勤続表彰贈呈式
2日	定期健康診断（利用者・職員） 地域交流ホール
20日	空知知的障がい福祉協会理事会 深川市 職員1名
21日	社会福祉法人 南幌苑 役員・職員合同研修会 虐待防止研修会 「知的障がい者福祉の歴史と現状」 講師 北海道知的障がい福祉協会権利擁護委員 白戸浩雅 氏 地域交流ホール
21日	福祉サービス相談委員会・虐待防止委員会 役員室 理事長 常務理事 第三者委員 担当者
5月 6日	めぐみ会総会 地域交流ホール
8日	地域貢献事業 環境整備 かよえ〜る周辺、南13線周辺
9日	北海道ソーシャルワーカー協会総会 札幌市 職員1名
10～11日	新人職員マナー研修 札幌市 職員1名
15日	日帰り社会学習 北海道グリーンランド 岩見沢市 利用者46名 職員23名
21～22日	全道施設長セミナー 札幌市 職員1名

開催年月日	主たる事業の内容
平成30年	
5月 21日	北海道知的障がい福祉協会会長表彰 総合活動者 札幌市 笹野勝明さん71歳 引率職員1名
26日	社会福祉法人南幌苑 役員・職員合同研修会 「虐待とリスクマネジメントについて」 講師 北海道保険補償 代表取締役 石山 忠 氏 地域交流ホール
6月 4～7日	夕張養護学校現場実習 1名
6日	交通安全特別運動（地域貢献）啓発用品提供 職員2名 利用者2名
7～8日	日本セルフセンター研究大会 東京都 職員1名
14日	職員共済会総会 札幌市 職員1名
15日	花見焼肉パーティー
16日	南幌養護学校運動会 職員1名
17日	第1回 成澤哲雄メモリアル球技大会 岩見沢市 職員3名
20日	空知知的障がい福祉協会職員研修会 I 美唄市 職員3名
25日	美唄養護学校現場実習 1名 6月29日まで
27～28日	北海道社会就労センター長会議 札幌市 職員1名

開催年月日	主たる事業の内容
平成30年	
6月 27～28日	強度行動障がい支援者養成研修（基礎） 札幌市 職員1名
29日	北海道知的障がい福祉協会災害対策委員会 札幌市 職員1名
29日	北海道介護福祉学校現場実習3名 7月6日まで
29日	救急救命講習・喉つまり応急処置研修 講師 南幌消防署員2名 職員17名
30日	空知知的障がい福祉協会保健医療部会研修 雨竜町 職員1名
7月 1日	空知の風地域交流祭 岩見沢市 職員1名
2～3日	全国知的障がい関係施設長会議 東京都 職員1名
2～5日	行動援護従業者養成研修 札幌市 職員1名
4日	新任スキルアップ講座 札幌市 職員1名
4～5日	北海道知的障がい福祉協会関係支援員研修 札幌市 職員1名
7日	滝川ほほえみ工房祭 滝川市 職員1名
8日	第31回スポーツ大会 来賓16名 家族82名 ボランティア15名 利用者57名 職員24名 計194名
13日	美唄養護学校公開 美唄市 職員1名

開催年月日	主たる事業の内容
平成30年	
7月 14日	全道地域支援等職員研修会 札幌市 職員1名
14日	南幌高校学校祭販売 職員2名 利用者2名
18～20日	30周年記念道外旅行 日光方面 家族5名 利用者8名 職員6名 計19名
21日	南幌町ふれあい祭り販売 利用者2名 職員2名
21日	前 日本知的障がい者福祉協会会長・北海道知的障がい福祉協会会長 橘文也さんの感謝とお疲れ様の会 札幌市 職員1名
23日	中堅職員スキルアップ講座 札幌市 職員1名
8月 6～7日	全国福祉施設士セミナー 東京都 職員1名
8日	特定給食施設等管理者研修会 岩見沢市 職員1名
8日	特定給食施設等担当者研修会 岩見沢市 職員1名
8日	権利擁護セミナー 札幌市 職員4名
21日	南幌町福祉スポーツ大会 スポーツセンター
23日	空知知的障がい福祉協会栄養士研修会 美唄市 職員1名
23日	地域生活支援センター「かよえ～る」 わんだフルCAFÉ MEGUMI 上棟式 もちまき



開催年月日	主たる事業の内容
平成30年	
8月 25日	しみずさわ ふれあい祭り 夕張市 職員1名
26日	岩見沢清丘園祭販売 岩見沢市 職員3名 利用者2名
1日	岩見沢光明舎祭り 岩見沢市 職員1名
2日	みどり苑まつり 職員1名
2日	空知知的障がい福祉協会パークゴルフ大会 滝川市
	職員4名 利用者8名
4日～7日	南幌養護学校中学部3年生現場実習 4名
5日	北海道知的障がい福祉協会災害対策検討委員会
	札幌市 職員1名
7日	食品衛生責任者養成講習 札幌市 職員1名
7日	南空知圏域感染症予防研修会 岩見沢市 職員1名
12～13日	30周年記念道内旅行 小樽方面
	家族23名 利用者39名 職員17名 計79名
19～20日	サービス管理責任者研修（第3分野 地域生活）
	旭川市 職員2名
20～22日	北海道知的障がい福祉協会 みんなあ〜と展

開催年月日	主たる事業の内容
平成30年	
9月 22日	深川あかとき学園祭 深川市 職員1名
	23日 札幌報恩学園祭 札幌市 職員1名
	25日 南空知圏域感染症予防研修会 岩見沢市 職員1名
	26日 食品衛生責任者講習 札幌市 職員1名
	29日 雪の聖母園祭 月形町 利用者1名 職員3名
	30日 第31回学園祭 地域交流ホール
10月 1日	社会福祉法人長井学園 設立50周年記念式典
	江別市 職員1名
	3～4日 南幌中学校職場体験実習 2名
	7日 南幌町ボランティアフェスタ販売 職員2名 利用者2名
	7日 千歳いずみ学園祭 千歳市 職員1名
	8日 ユメゴコチ百貨店販売 江別市 職員2名
	10日 清水町障害者児振興会連絡協議会 施設見学 24名
	11日 南幌町教育研究協議会 施設見学 7名
	11～12日 強度行動障害支援者養成研修 札幌市 職員1名

開催年月日	主たる事業の内容
平成30年	
10月	12日 北海道栄養士会研修 札幌市 職員1名
	12日 ティーボール参加チーム代表責任者会議 北広島市 職員1名
	13日 札幌報恩会創立100周年記念式典 札幌市 職員1名
	16日 めぐみ会役員会
	18日 北海道職員共済会創立50周年記念式典 札幌市 職員1名
	20日 社会福祉法人南幌苑 創立30周年記念式典・祝賀会
	地域交流ホール 来賓71名、利用者52名、ボランティア3名、
	役員関係13名、職員27名 計166名
	23日 南幌町食育推進計画策定委員会 職員1名
	25日 大友財団贈呈式 札幌市 職員1名
11月	1日 空知知連協 南幌めぐみ学園地域交流ホール 職員3名
	3日 千歳いずみ50周年記念式典 千歳市 職員1名
	4日 わんだフルCAFE MEGUMI オープン
	6日 定期健康診断、インフルエンザワクチン接種
	6日 空知総合振興局集団指導 岩見沢市 職員1名

開催年月日	主たる事業の内容
平成30年	
11月 6日	食品衛生責任者講習 岩見沢市 職員1名
7日	めぐみ会・職員合同研修会（30周年記念講演） 札幌市 講師 日本知的障がい者福祉協会顧問 橋 文也氏 上坂月形町長 北海道知的障がい福祉協会 加藤事務局長 めぐみ会12名 職員8名
10日	南幌養護学校祭販売 利用者2名 職員3名
13日	レッドダウン作戦
15日	南幌養護学校 施設見学 24名
17日	えぼフェスタ販売 利用者2名 職員3名
20日	新得町厚生協会 施設見学 13名
22日	全国社会福祉大会永年勤続表彰授賞式 東京都 職員3名
21～22日	空知知的協会新任職員研修会 美唄市 職員2名
26日	南幌町家族会（精神障害者を持つ家族） 施設見学10名 町職員2名
27日	札幌養護学校 現場実習1名
29日	名寄みどりの郷 施設見学5名

開催年月日	主たる事業の内容
平成30年	
11月 29～30日	日中活動支援部会全国大会 神奈川県 職員2名
12月 5日	もちつき 地域交流ホール
16日	ティーボール北の甲子園大会 札幌市 家族5名 利用者11名 職員6名 計22名
19日	忘年会 地域交流ホール
22日	北海道ソーシャルワーカー協会研修 札幌市 職員1名
平成31年	
1月 1日	初詣 南幌神社 利用者20名 職員9名 計29名
11日	南幌町新年交礼会 改善センター 職員1名
13日	南幌成人式 改善センター 成人利用者1名 職員2名
16～17日	幹部職員研修会 札幌市 職員1名
19日	行動援護従事者研修 札幌市 職員1名
21日	新年会 地域交流ホール
25日	全道グループホーム等スタッフ研修会 札幌市 職員1名
26日	行動援護従事者研修 札幌市 職員1名
2月 1日	厄払い 食堂 利用者5名

開催年月日	主たる事業の内容
平成31年度	
2月 2日	行動援護従事者研修 札幌市 職員1名
	3日 節分 豆まき
4～7日	行動援護従事者研修 札幌市 職員1名
	9日 行動援護従事者研修 札幌市 職員1名
	13日 消費税改正セミナー 札幌市 職員2名
14～15日	経営協総会、経営実務セミナー 札幌市 職員1名
14～15日	サービス管理責任者研修 札幌市 職員1名
19日～3/1	文教大学実習 1名
	21～22日 全道施設長会議 札幌市 職員1名
	27～28日 サービス管理責任者研修 札幌市 職員1名
	28日 南幌町自立支援協議会 職員1名
3月 3日	ひな祭り
5～6日	社会就労センター長会議・総会 札幌市 職員1名
	6日 福祉施設士会ブロックセミナー 札幌市 職員5名

開催年月日	主たる事業の内容
成31年度 3月 7～8日  8日  20日	空知知的協会宿泊幹事会 美唄市 職員2名  南幌養護学校高等部卒業式  園内レクリエーション 地域交流ホール
毎 月 実施事業	生活懇談会 買物実習 身体測定・血圧測定 北広島メンタルクリニック医師問診 歯科ブラッシング指導 職員会議 給食会議 支援員会議 避難訓練 防災点検 日赤奉仕団・ボランティアとの交流

## 2. 職員の配置

平成31年3月31日

職名	常勤職員	非常勤職員	計
施設長	1		1
事務員	2		3
サービス管理責任者	2		2
支援員	18	5	23
世話人	1		1
看護師	1		1
栄養士	1		1
医師		1	1
計	26	6	32



#### 4. 利用者の状況

##### (1) 月別在籍者状況

月別 区分	30年												31年	合 計 (人)
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
初日 在籍者	入所	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	588
	通所	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156
入所者	入所													0
	通所										1			1
退所者	入所												1	1
	通所									1				1

##### (2) 退所者状況

退所者数	退 所 者 数						
	社 会 復 帰	帰 宅	長 期 入 院	施 設 替 え	死 亡	その他	合 計
入 所			1				1
通 所				1			1

### (3) 利用者年齢調

平成31年3月31日現在

年齢区分	入 所			通 所		
	男	女	計	男	女	計
15歳～19歳	1		1			
20歳～24歳	1		1			
25歳～29歳		2	2	1		1
30歳～34歳	1	1	2	2	3	5
35歳～39歳	4		4			
40歳～44歳	11	4	15			
45歳～49歳	5	6	11		2	2
50歳～54歳		3	3	1	2	3
55歳～59歳		2	2			
60歳以上	3	4	7		2	2
計	26	22	48	4	9	13

入 所                  通 所

最小年齢 入所                  通所

男 20歳2ヶ月・30歳4ヶ月

女 31歳6ヶ月・18歳0ヶ月

最高年齢

男 83歳4ヶ月・51歳8ヶ月

女 71歳7ヶ月・65歳7ヶ月

平均年齢

男 46歳8ヶ月・37歳0ヶ月

女 51歳1ヶ月・43歳6ヶ月

男女平均年齢

42歳5ヶ月・47歳4ヶ月

### (4) 利用期間調

平成31年3月31日現在

期間区分	入 所			通 所		
	男	女	計	男	女	計
1年未満	1		1	1	1	2
1年～2年未満						
2年～3年未満	1	1	2		1	1
3年～4年未満	1		1			
4年～5年未満	2		2			
5年～10年未満	1	1	2	2	1	3
10年以上	20	20	40	1	6	7
合 計	26	22	48	4	9	12
平均利用期間	23年6ヶ月	21年1ヶ月	22年4ヶ月	9年 0ヶ月	8年3ヶ月	8年7ヶ月
最高利用期間	30年11ヶ月	30年11ヶ月	30年11ヶ月	14年11ヶ月	15年8ヶ月	15年8ヶ月

## (5) 利用者出身市町村調

平成31年3月31日現在

市 町 村	入 所			通 所		
	男	女	計	男	女	計
札幌市 東区	1	1	2			
札幌市中央区		1	1			
札幌市厚別区	1		1			
札幌市 北区	1		1			
札幌市白石区		1	1			
札幌市清田区		1	1			
札幌市豊平区	1		1			
北 広 島 市	2	3	5			
江 別 市	3	5	8	1	1	2
小 樽 市		2	2		1	1
夕 張 市		1	1			
網 走 市		1	1			
北 見 市		1	1			
岩 見 沢 市	2	1	3		4	4
南 幌 町	8		8	3	2	5
栗 山 町		1	1			
長 沼 町	1		1			
新 篠 津 村	1		1			
妹 背 牛 町	1		1			
愛 別 町	1		1			
岩 内 町	1		1			
余 市 町		1	1			
苫 前 町	1		1			
釧 路 町		1	1			
平 取 町		1	1			
当 麻 町					1	1
遠 軽 町	1		1			
計	26	22	48	4	9	13

(6) 障害状況調

平成31年3月31日現在

☆ 疾患状況

障害疾患名	入所			通所		
	男	女	計	男	女	計
聴力障害	1		1			
視力障害	2		1			
四肢・体幹機能障害	1	3	4	1	2	3
言語障害	4	3	7			
てんかん	6	6	12	3	2	5
精神科疾患・統合失調症	6	8	14		2	2
高血圧	2	2	4	1	1	2
低血圧	1		1			
糖尿病	1		2	1		1
骨疾患	1	3	4			
腎臓疾患	1	1	3	1		1
肝臓疾患	2	1	3			
心臓疾患	2		2			
甲状腺疾患		2	2			
皮膚疾患	12	11	33		2	2
パーキンソン症候群						
自閉症（傾向）	12	5	17	4	2	6
ダウン症	3	3	6	1	1	2

☆ 知能指数

知能指数(程度)	入所			通所		
	男	女	計	男	女	計
測定不能(全介助を必要)	1	1	2	1		1
I Q 3 5 以下(常時介助を必要)	20	12	32	2	1	3
I Q 3 6 ~ 4 9 (介助指導を必要)	2	8	10		3	3
I Q 5 0 以上(一部介助指導必要)	3	1	4	1	5	6
計	26	22	48	4	9	13

(7) 面 会 状 況

南幌めぐみ学園

回 数	男	女	合 計
5 回 以 上	0 人	1 人	1 人
4 回	1 人	0 人	1 人
3 回	1 人	1 人	2 人
2 回	0 人	0 人	0 人
1 回	2 人	2 人	4 人
面 会 な し	22 人	18 人	40 人
計	26 人	22 人	48 人

ハイツひまわり

回 数	男	女	合 計
5 回 以 上	0 人	0 人	0 人
4 回	0 人	0 人	0 人
3 回	0 人	0 人	0 人
2 回	0 人	1 人	1 人
1 回	0 人	1 人	1 人
面 会 な し	0 人	2 人	2 人
計	0 人	4 人	4 人

## (8) 外出状況

南幌めぐみ学園

回数	男	女	合計
30回以上	1人	0人	1人
20～29回	0人	0人	0人
10～19回	0人	0人	0人
5～9回	1人	1人	2人
1～4回	10人	12人	22人
なし	14人	9人	23人
計	26人	22人	48人

ハイツひまわり

回数	男	女	合計
30回以上	0人	0人	0人
20～29回	0人	0人	0人
10～19回	0人	2人	2人
5～9回	0人	1人	1人
1～4回	0人	1人	1人
なし	0人	0人	0人
計	0人	4人	4人

(9) 外泊状況調

☆ 外泊回数

南幌めぐみ学園

回 数	男	女	合 計
30 回 以 上	4 人	0 人	4 人
20 ~ 29 回	2 人	0 人	2 人
10 ~ 19 回	6 人	4 人	10 人
5 ~ 9 回	6 人	4 人	10 人
1 ~ 4 回	3 人	7 人	10 人
な し	5 人	7 人	12 人
計	26 人	22 人	48 人

※ 最高外泊回数 48回

ハイツひまわり

回 数	男	女	合 計
30 回 以 上	0 人	0 人	0 人
20 ~ 29 回	0 人	0 人	0 人
10 ~ 19 回	0 人	0 人	0 人
5 ~ 9 回	0 人	1 人	1 人
1 ~ 4 回	0 人	2 人	2 人
な し	0 人	1 人	1 人
計	0 人	4 人	4 人

※ 最高外泊回数 4回

☆ 外泊期間

南幌めぐみ学園

日数	男	女	合計
41日以上	10人	4人	14人
31日～40日	4人	1人	5人
21日～30日	3人	2人	5人
11日～20日	3人	2人	5人
1日～10日	1人	6人	7人
なし	5人	7人	12人
計	26人	22人	48人

※ 合計宿泊数 1,746日

ハイツひまわり

日数	男	女	合計
41日以上	0人	0人	0人
31日～40日	0人	0人	0人
21日～30日	0人	0人	0人
11日～20日	0人	1人	1人
1日～10日	0人	2人	2人
なし	0人	1人	1人
計	0人	4人	4人

☆ 入院による外泊

南幌めぐみ学園

男性	A (男)	B (男)	C (男)	D (男)	計
入院回数	1回	1回	回	回	2回
入院日数	14日	90日	日	日	104日
主病	肺炎	骨折			

女性	A (女)	B (女)	C (女)	D (女)	計
入院回数	1回	1回	1回	回	3回
入院日数	14日	7日	3日	日	24日
主病	急性腎炎	肺炎	肺炎		



## 5. 短期入所・日中一時支援

### (1) 短期入所利用状況

	30年									31年			合 計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
実人員	4 (3)	4 (4)	4 (3)	3 (4)	6 (3)	6 (2)	5 (3)	5 (4)	6 (6)	4 (7)	3 (3)	6 (3)	9 (8)
延日数	46 (45)	51 (46)	41 (40)	51 (44)	49 (45)	47 (31)	52 (35)	62 (50)	59 (93)	53 (79)	38 (40)	45 (49)	594 (597)

※ 下段 () は昨年度実績

### (2) 日中一時支援利用状況

	30年									31年			合 計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
実人員	2 (5)	2 (6)	1 (5)	2 (3)	2 (3)	1 (4)	3 (5)	1 (5)	1 (2)	2 (4)	0 (3)	1 (1)	7 (9)
延日数	4 (13)	6 (8)	2 (5)	3 (6)	3 (5)	1 (8)	3 (9)	1 (6)	1 (5)	2 (6)	0 (6)	2 (2)	39 (79)

※ 下段 () は昨年度実績

### (3) 短期入所・日中一時支援利用者市町村調

区 分	市 町 村							合 計
	岩見沢	江別市	南幌町	北広島市	札幌市	千歳市		
短期入所	4 (3)	2 (2)	1 (2)	0 (0)	1 (0)	1 (1)	9 (8)	
日中一時支援	3 (4)	1 (2)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	7 (9)	
実 人 員	5 (5)	3 (3)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	2 (2)	13 (13)	

※ 下段 () は昨年度実績

